

資産運用の形態

運用対象	株式・債券・不動産・商品など							
運用の形態	特定の資産を 保有 (非運用資産)				特定の資産を 売買 (運用資産)			
運用者	投資家自身		専門家		投資家自身		専門家	
売買頻度	長期				短期～中期			
運用戦略	グロース(成長)投資戦略、バリュウ(割安)投資戦略など				ロング・ショート戦略、アービトラージ戦略、トレンドフォロー戦略など			
運用手法	特定資産への直接投資 ETF投資 国際分散投資 外貨預金など		株式型投資信託 バランス型投資信託 不動産投資信託 商品ファンドなどへ投資		デイトレード スウィングトレードなど		ヘッジファンドへ投資	
資産の連動性	マーケットの値動きに連動しやすい				マーケットの値動きに連動しにくい			
下落マーケット	利益追求できない				利益追求できる			
リスクヘッジ	基本的になし				基本的にあり			
現実	勝ち組は 少ない	負け組が ほとんど	勝ち組は 少ない	負け組が ほとんど	勝ち組は 10人に1人程度	負け組は 10人中9人程度	勝ち組が 半数程度	負け組が 半数程度
運用目的	特定資産の成長に応じた利益追求				比較的短期の利益追求		長期安定運用	
必要なスキル	長期的な経済状況を見極めるだけの 情報収集力と経済分析力 が必要。		外部環境の変化に応じて 乗り換えの 判断力 が必要。		マーケットの競争に打ち勝つ 知識と精神力 が必要。		勝ち組ファンドを見極めるには、 調査および分析能力 が必要。	
アドバイザー	投資顧問会社、ファイナンシャル・アドバイザーはいるが、経済分析に優れたアドバイザーは少数。 俄アドバイザーも多く、その見極めは極めて困難。優秀なアドバイザーはヘッジファンドマネージャーに。				ファンド調査に精通した 海外のゲートキーパー			
対策	先が読めないなら、他の資産運用をする。				精神力がないなら、あきらめる。		ゲートキーパーによる ファンド・オブ・ヘッジファンズ	